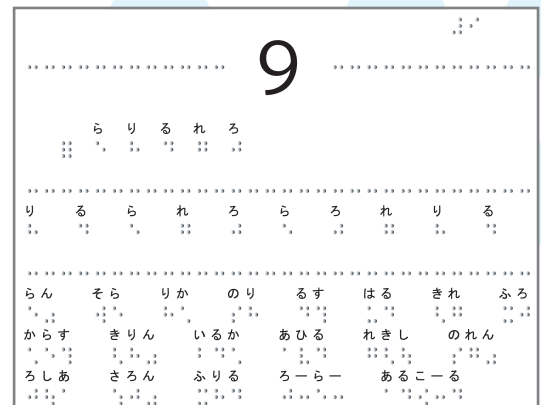


# 人生の途中で、 見えない・見えにくくなった 人のための ひとりで学べる点字学習書



普通文字が印刷してありますので、身近な人の助けを借りながら学習を進めることもできます。



50年以上の歴史を持つ  
当館点字教室の  
ノウハウを活かした  
音声解説を聞きながら  
効果的に学ぶことが  
できます。

書名：中途視覚障害者のための点字入門

著者：立花 明彦・松谷 詩子

判型等：A4判・点字1巻・バインダー製本

ページ数：30ページ

付属品：一般CD 3枚 or デイジー版CD 1枚（3時間18分）

価格：6500円 購入に際し、費用助成を得られる制度があります。詳しくは下記まで。

■ 社会福祉法人日本点字図書館点字製作課 TEL 03-3209-0671 [tenji@nittento.or.jp](mailto:tenji@nittento.or.jp)  
インターネットによる通販購入もできます ⇒ <http://yougu.nittento.or.jp>

## 本教材に対する反応

日本点字図書館には、中途視覚障害者から点字を学習したい旨の問い合わせがしばしば寄せられる。地理的あるいは時間的な問題等で当館点字教室の受講が不可能である場合には『点字入門』を教材の一つとして紹介する。以下は、『点字入門』で3ヶ月間独習した後で、当館点字教室で受講をはじめたケース2例についての学習結果である。

### <ケース1>

50代女性、網膜色素変性症、身体障害者手帳1級。点字学習の経験はなし。本ケースは、解説を聴きながら点字テキストを触る練習から始めたと言う。文字の形を覚えてから、単語・短文を独力で読み、音声解説から正解のフィードバックを受けるように学習法を工夫。根気が尽きて、つい音声解説で先に正解を聴いてから触ると、簡単に読めるような錯覚に陥るので、自制しながら進めたとのこと。その後、音声解説は聞かず、テキストのみを何度も繰り返し触読し、例示されている単語、短文は、ほとんど暗記するまでになった。

### <ケース2>

50代男性、糖尿病性網膜症、身体障害者手帳1級。保有視力があつた3年ほど前、清音の書き方を学んだが、触読に挑戦するのは初めて。各文字の形に関しては、頭の中で組み立てることができたので、最初の取り組みは音声解説からネーミングを受けてイメージする文字の形を、指先が感じ取るかどうかのモニターであつたと言う。次に、単語、短文の読み方練習を音声解説のフィードバックを受けながら繰り返した。

両ケースとも『点字入門』は繰り返し熟読したので、内容はほとんど暗記したと語っている。確かに、その努力により文字の習得は達成されていた。次の課題は、未読の材料を読みこなしていく自信をどのように身につけていくかであり、教室では1ページ10行以内の短いストーリーを読み、内容を把握するトレーニング段階からスタートした。当初から、70分の受講時間で10個近いストーリーを読んだ。3ヶ月の期間でその程度まで進んでいるケースはほとんどないので驚かされた。受講開始から6ヶ月が経過した時点での二人の読み速度は1ページ(17行)共に約9分である。

二人からは、本教材に対して次のような感想が寄せられている。

音声解説が丁寧で有効であつた。

例示されている単語や短文は、とても良くアレンジされていると思った。

最後のページまで辿りついたころには、文字については習得できていたので、腕試しの短いストーリーは読めるようになっていて、ある種の達成感が得られた。